

研究デザインのはなし

自分の「問い」に向き合おう

古石篤子研究会 2012 秋
遠藤 忍 (enshino@sfc.keio.ac.jp)



はなしのながれ

- 研究ってなんだ？
- 自分の「問い」を意識する
- 問いをせばめる方法
- 証拠を集める方法
- ペーパーにまとめる

「研究とは、ある特定の物事について、人間の知識を集めて考察し、実験、観察、調査などを通して調べて、その物事についての事実を深く追求する一連の過程のことである。」

「研究の目的は突き詰めれば、新しい事実や解釈の発見である。それゆえ、研究の遂行者は、得られた研究成果が『**新しい事実や解釈の発見**』であることを証明するために、それが先行研究によってまだ解明されていないことも示す必要がある。」

(Wikipedia - 研究)

「研究とは、ある特定の物事について、人間の知識を集めて考察し、実験、観察、調査などを通して調べて、その物事についての事実を深く追求する一連の過程のことである。」

「研究の目的は突き詰めれば、新しい事実や解釈の発見である。それゆえ、研究の遂行者は、得られた研究成果が『新しい事実や解釈の発見』であることを証明するために、それが先行研究によってまだ解明されていないことも示す必要がある。」

(Wikipedia - 研究)

「研究とは、ある特定の物事について、人間の知識を集めて**考察**し、**実験、観察、調査**などを通して調べて、その物事についての**事実**を深く追求する一連の過程のことである。」

「研究の目的は突き詰めれば、新しい事実や解釈の発見である。それゆえ、研究の遂行者は、得られた研究成果が『**新しい事実や解釈の発見**』であることを証明するために、それが**先行研究**によってまだ解明されていないことも示す必要がある。」

(Wikipedia - 研究)

研究はなんのためにするのか

- 「知りたくてしょうがない！」
 - 知的好奇心・真理探究
 - 『環境情報』ってこっちっぽい
 - 問いから出発するタイプ
 - 「なんで、どうしてこうなってんの？」
- 「訴えたい主張がある！」
 - 社会貢献・政策形成
 - 『総合政策』ってこっちっぽい
 - 結論から出発するタイプ
 - 「これはこうあるべき(なはず)だ！」
- 「こんな実践・活動をしています！」
 - 実践の評価／アクションリサーチ

研究ってなんだ？

研究に必要なもの・意識すること

問い

答え

研究に必要なもの・意識すること

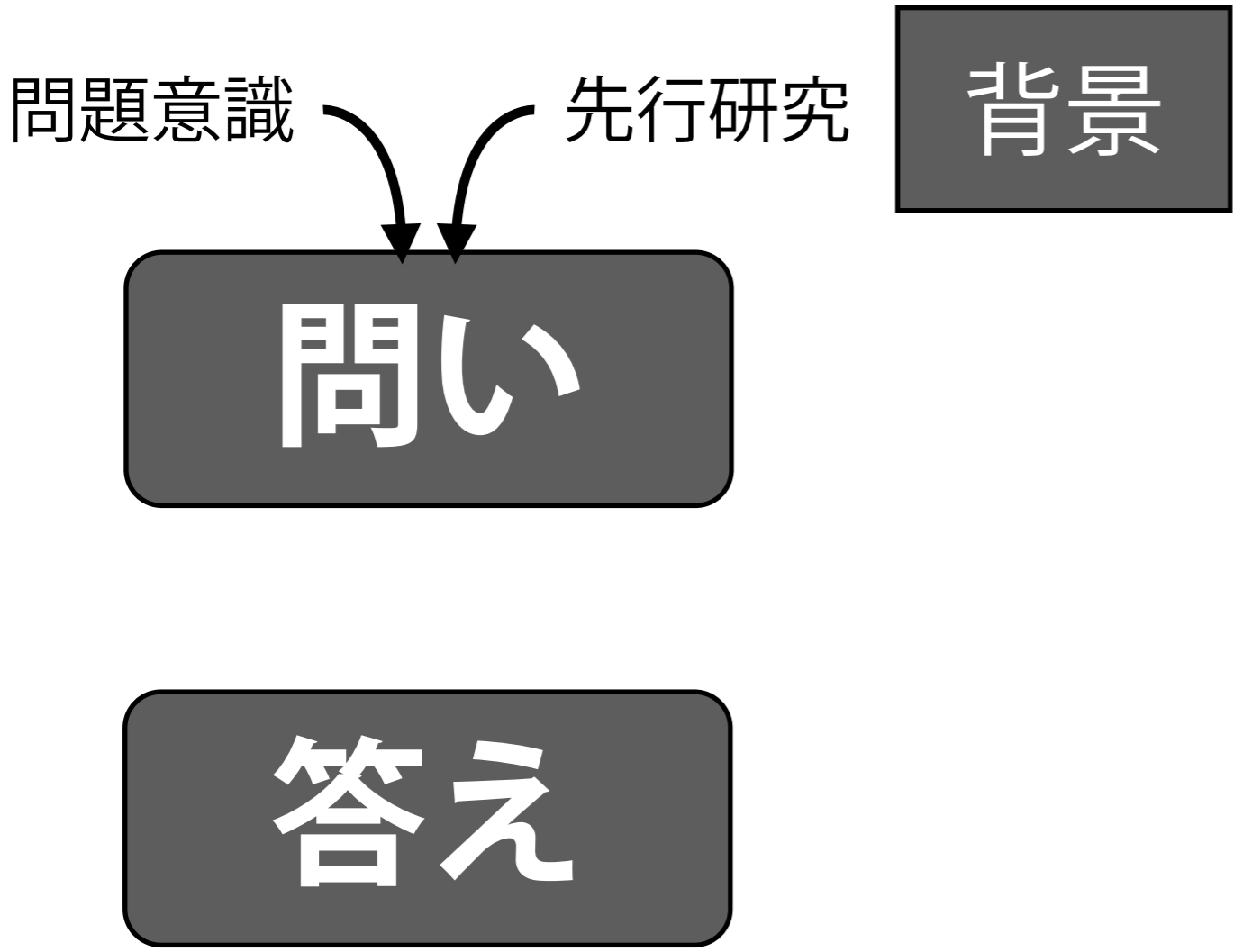
問題意識

先行研究

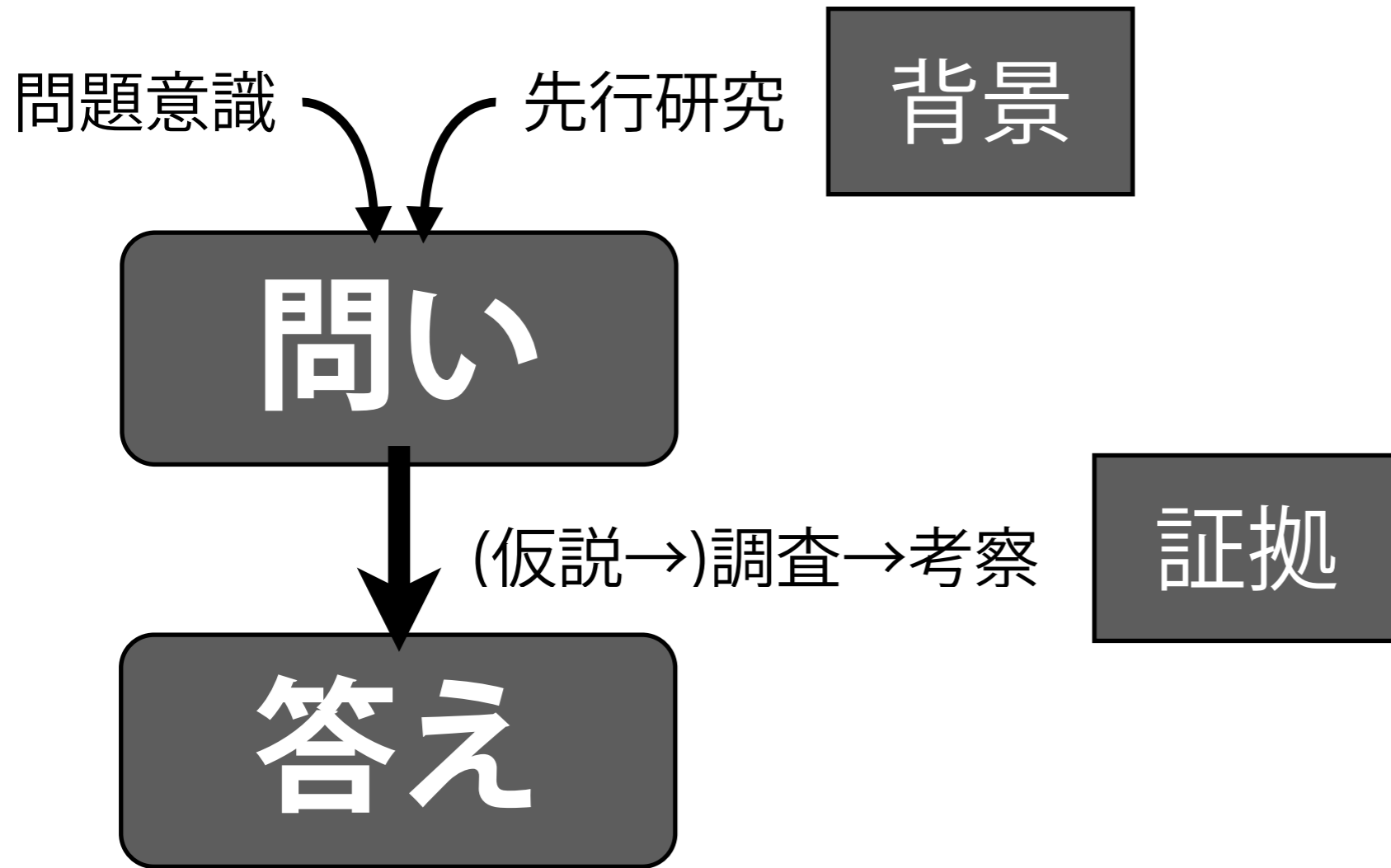
背景

問い

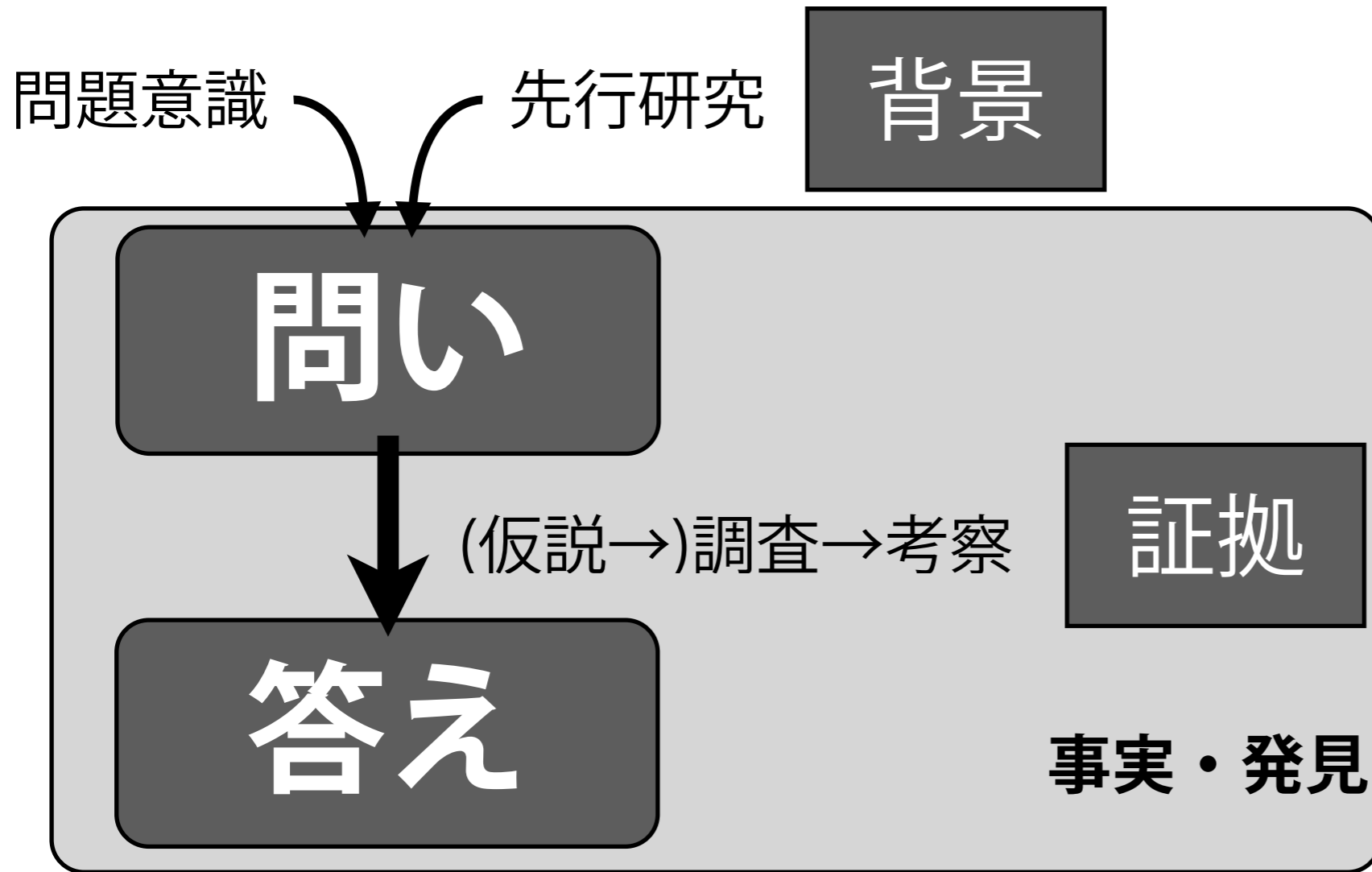
答え



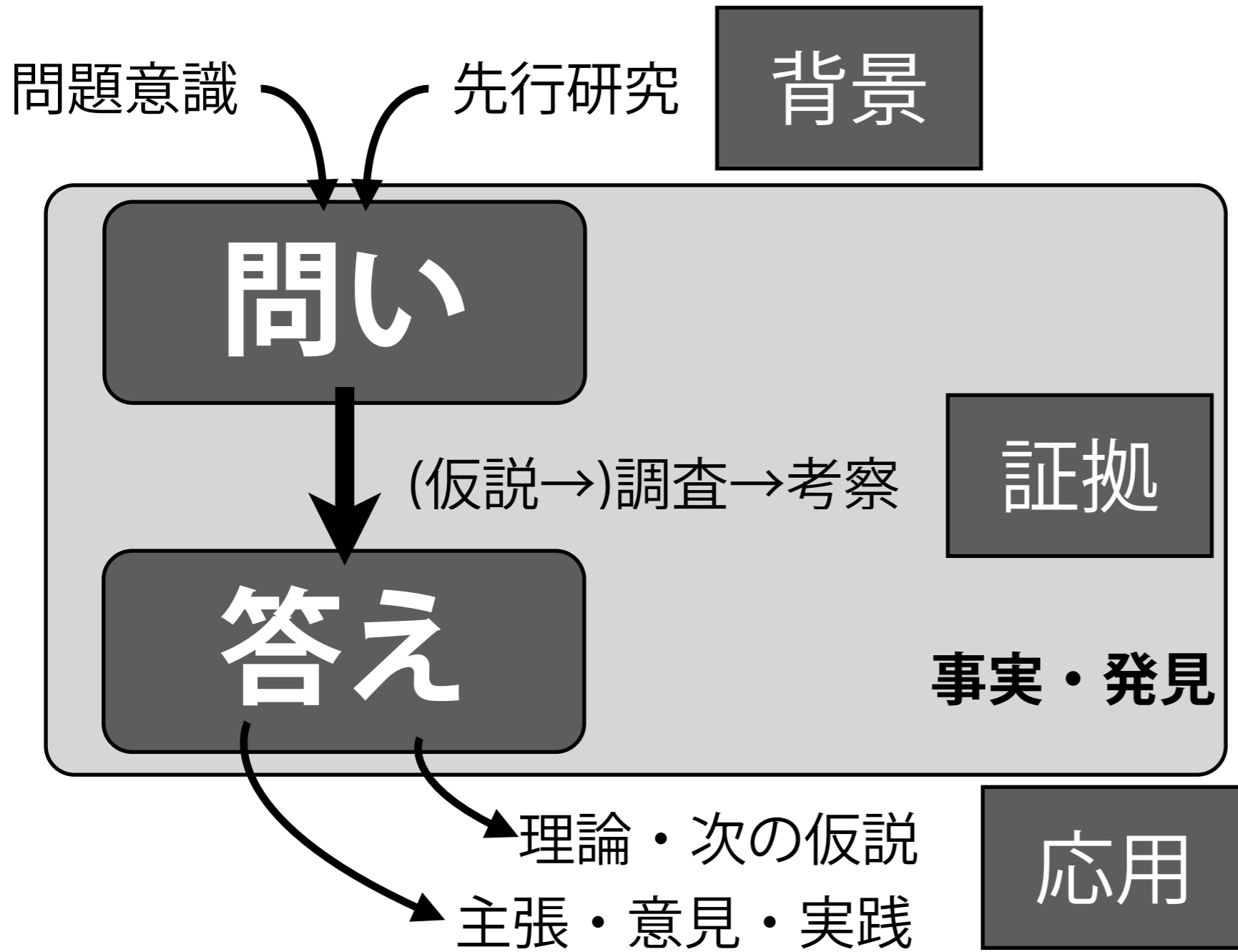
研究に必要なもの・意識すること



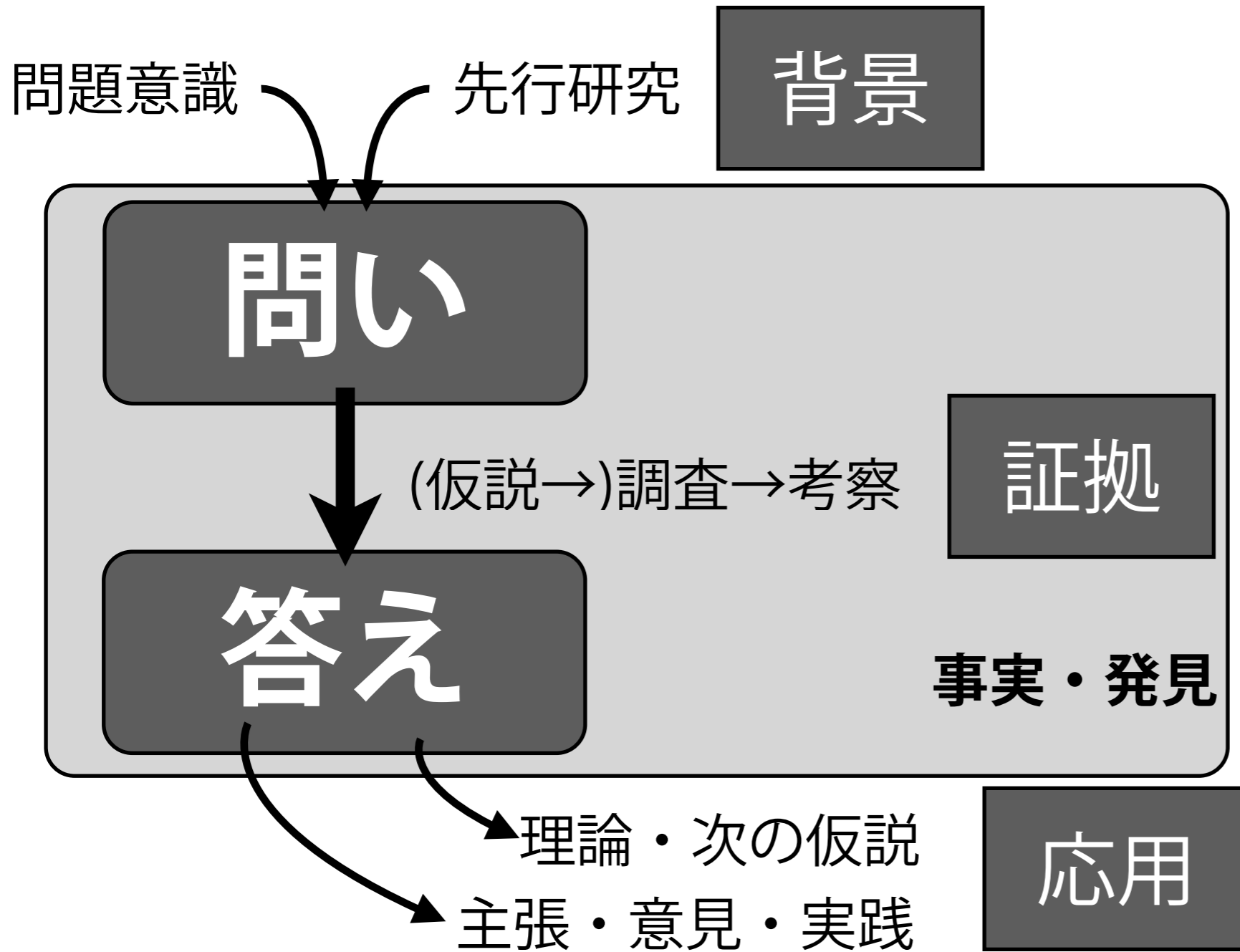
研究に必要なもの・意識すること



研究に必要なもの・意識すること



研究に必要なもの・意識すること



- 新規性
 - 発見した事実
 - 実践した方法
 - 組立てた理論
- 客観性
 - 誰でも・もう一度、証拠集めができる
 - 集めた証拠から分かることが誰にも分かる

5W1Hで問いを創り出そう

- 対象（テーマ）
 - What : 何の
 - Where : どの
 - Who : 誰の
 - When : いつ について知りたいか
- 背景（正当性）
 - Why : どうして知りたいか
- 方法
 - How : どのように知るか

5W1Hで問いを創り出そう

- 対象（テーマ）
 - What : 何の
 - Where : どの
 - Who : 誰の
 - When : いつ について知りたいか
- 背景（正当性）
 - Why : どうして知りたいか
- 方法
 - How : どのように知るか

- どんなことが
気になっていませんか？
- なぜそれが
気になっているのですか？
- 既に知っていることは
何ですか？
- まだ知らないことは
何ですか？
- 気になっていることを
何に繋がりたいですか？

仮説とリサーチ・クエスチョン

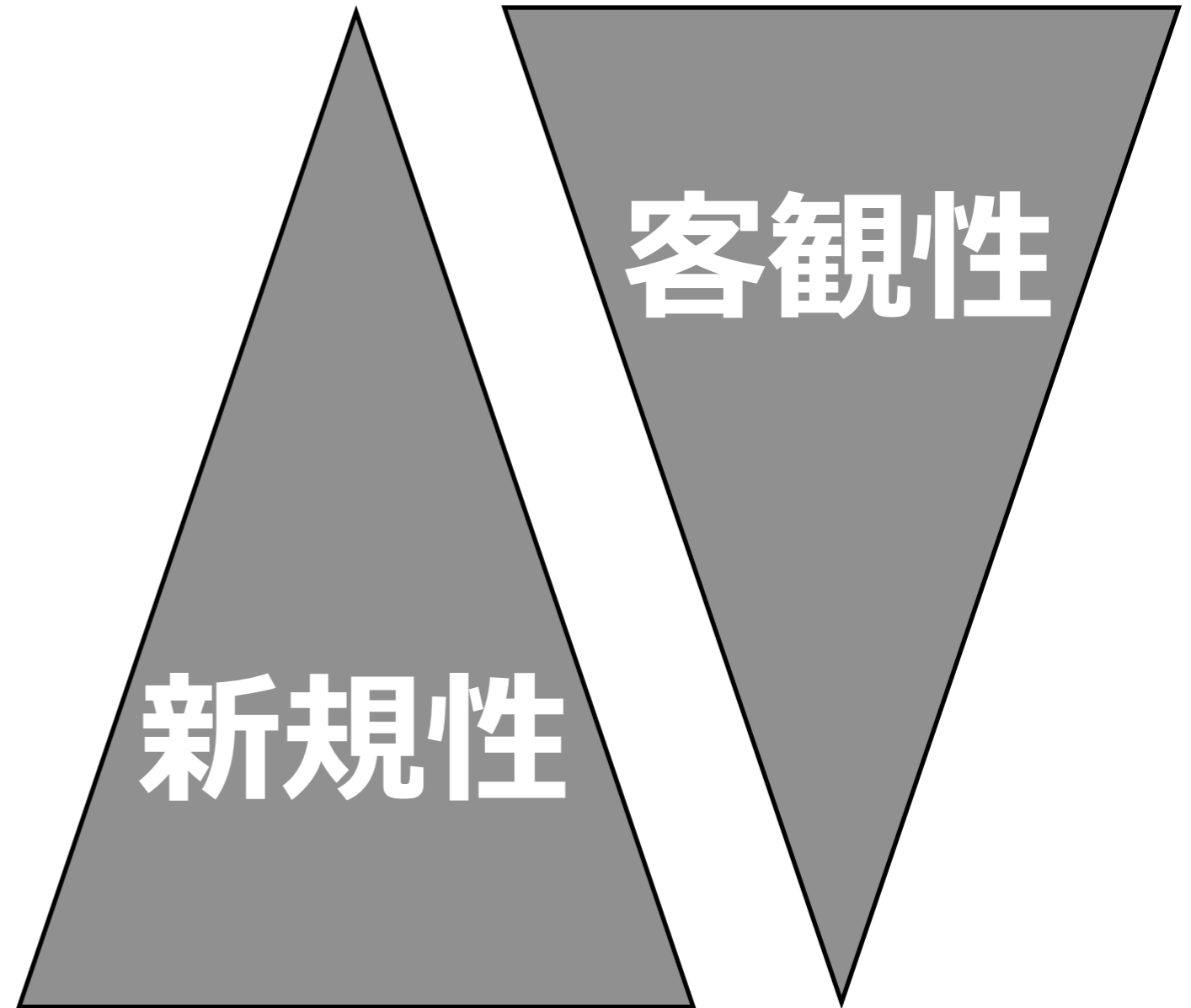
- 開いた R Q : 5W1H の質問
 - 例) ラーメン二郎が儲かる要素は何か
 - 答えを予測するのが難しい時
 - 偶然性との出会い (セレンティピティ)
- 仮説 : $A \rightarrow B$ が成り立つ(たない)
 - 例) ラーメン二郎が儲かるのはニンニクを増すからである
- 閉じた R Q : Yes/No の質問
 - 例) ラーメン二郎が儲かるのはニンニクを増すから、
であるかどうか

調べるところを狭める方法

- ドラフトライティング
 - 知っていることをひたすらガバガバとリストアップする
 - A3のウラ紙でも、付箋でも
- マインドマップ
 - 「テーマ」を中心においてガバガバ挙げたキーワードを関連づけていく
 - KJ法：まとめる・ながめる
- 薄いところが調べるポイント
- 濃いところは使える証拠

社会科学の3つの方法

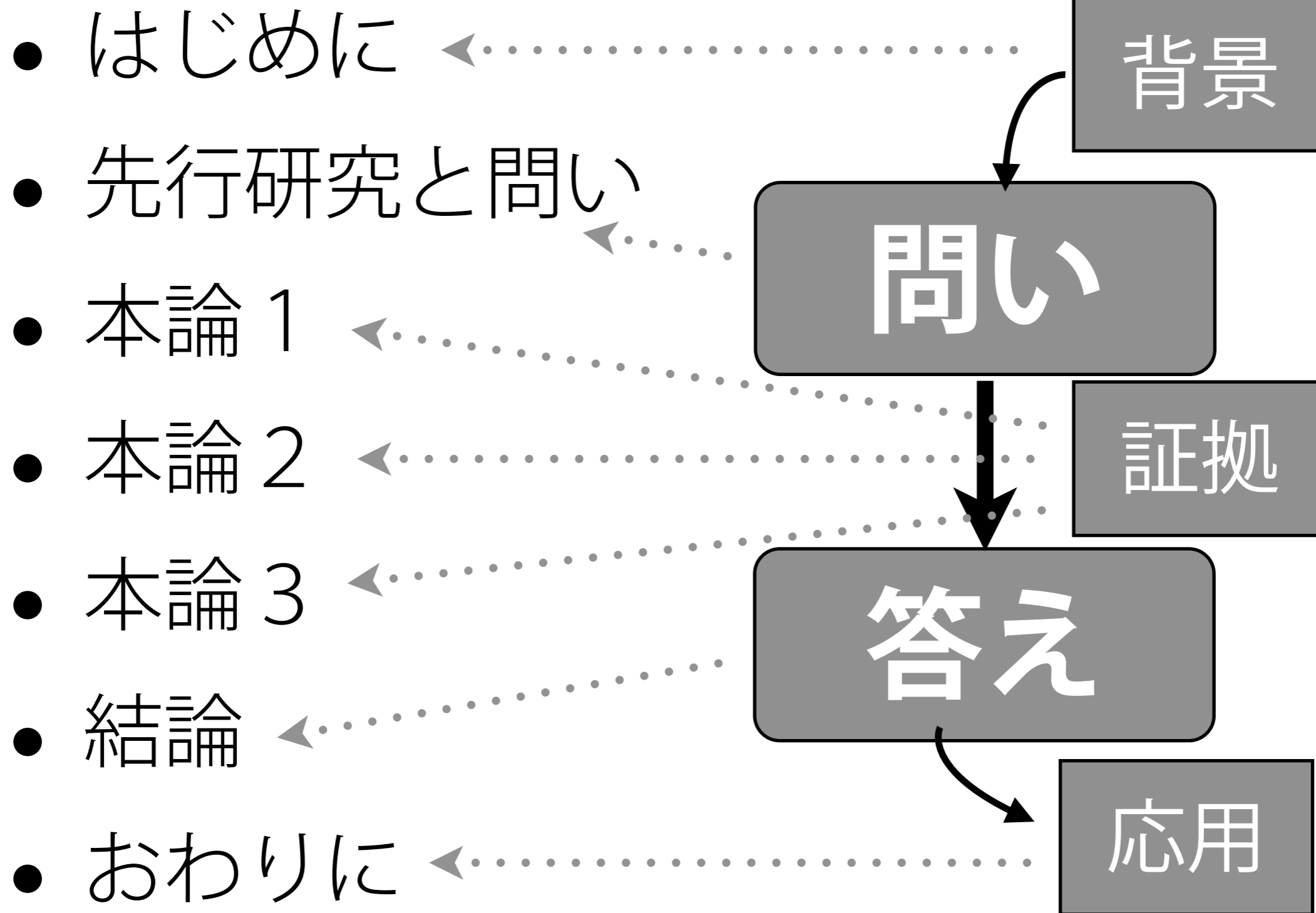
- 文献を調べる
- データを集める
- 当事者に聞く
- 自分で見て感じる



「分析」の3つの方法

- 記述する
 - 調べる中で分かった事実を事実として記述
 - 事実を積み重ねて予測を立てる＝推論
- 比較する
 - 調べて分かったことをならべてくらべる
 - 同じところ・違うところを出していく
- 構成する
 - 証拠の筋道を作って、問いから答えを導く
 - 別々のような証拠を串刺しする

論文構成＝研究に要ること



まとめる時に役立つ本

- キング, コーヘン, ヴァーバ 『社会科学のリサーチ・デザイン - 定性的研究における科学的推論』
- 山田ズーニー 『考えるシート』
- 東京大学大学院教育学研究科 『信頼される論文を書くために』
- 川喜田二郎 『発想法』
- 小田博志 『エスノグラフィー入門 <現場>を質的研究する』